

大網白里市総合計画について



令和3年3月策定
基本構想
前期基本計画

令和7年1月23日 企画政策課

目 次

1 大網白里市総合計画について

- (1) 計画構成のイメージ図 1
- (2) 基本構想について..... 2
- (3) 基本計画について..... 3
- (4) 後期基本計画の策定について..... 4

2 人口の現状と将来展望について

- (1) 総人口の推移..... 5
- (2) 人口ピラミッド 6
- (3) 人口の年齢構成比..... 7
- (4) 人口動態..... 8
- (5) 人口の現状と今後の見通し..... 9
- (6) 将来人口推計..... 10

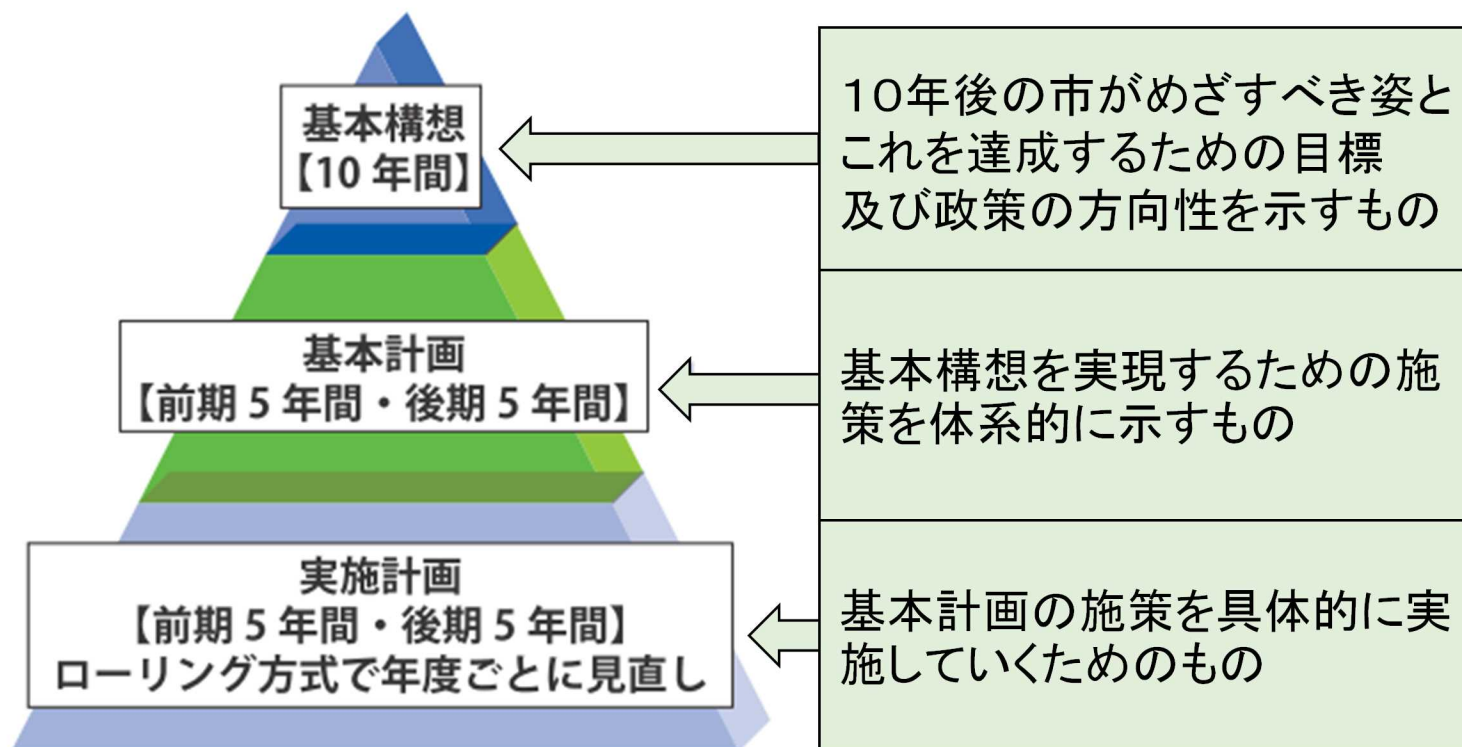
3 市民アンケート調査について

- (1) 調査概要..... 11
- (2) 調査結果(概要) 12

1 大網白里市総合計画について

(1) 計画構成のイメージ図

- ◎まちづくりの目標を定め、計画的かつ総合的にまちづくりを推進するための市の最上位に位置づけられる計画
- ◎基本構想、基本計画、実施計画から構成
- ◎現在は第6次計画（2021～2030年度）



(2) 基本構想について

〈基本理念〉

- ・“田園文化都市の継承” 田園環境と都市環境の調和
- ・“みんなでつくろう” 住民参画と協働の推進

大網白里市市民憲章に定める「明るく、豊かな、住みよい田園文化都市」の実現と継承

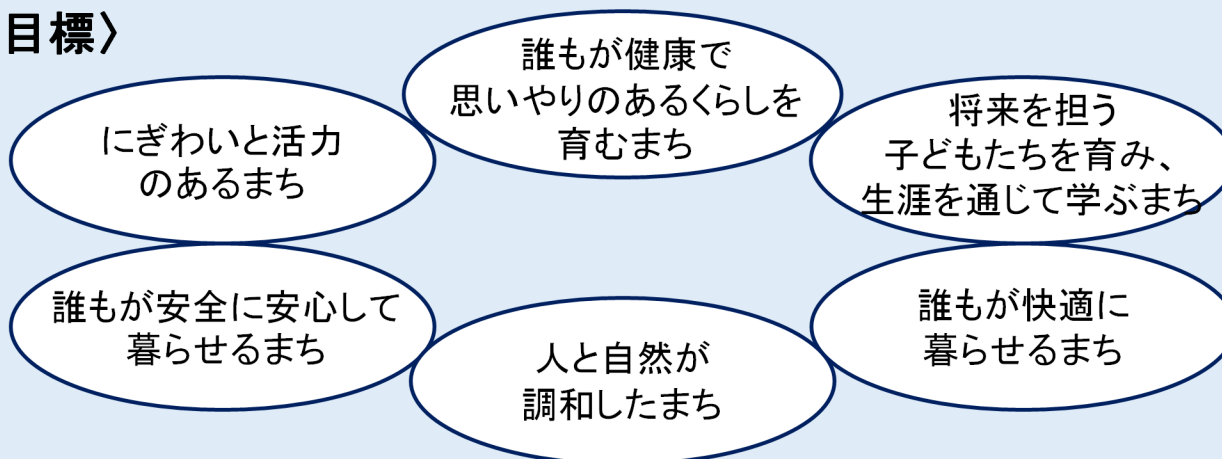


〈将来像〉

「未来に向けて みんなでつくろう！ 住みたい・住み続けたいまち」



〈基本目標〉



〈まちづくりの推進方策〉

地域・市民が主役のまち

創意と工夫による持続可能な行財政の推進

(3) 基本計画について

「6つの基本目標」と「2つの推進方策」ごとに
市の実施する施策を体系的に整理

○ 6つの基本目標

1 誰もが健康で思いやりのある暮らしを育むまち【保健・福祉の充実】

2 将来を担う子どもたちを育み、生涯を通じて学ぶまち【教育・文化の充実】

3 誰もが快適に暮らせるまち【都市基盤の整備】

4 人と自然が調和したまち【自然環境との共生】

5 誰もが安全に安心して暮らせるまち【安全・安心の確保】

6 にぎわいと活力のあるまち【産業・観光の振興】

○ 分野別の基本施策

1.健康づくり、2.医療体制、3.地域福祉、4.児童福祉・子育て支援、5.高齢者福祉、6.障がい者(児)福祉、7.社会保障

1.幼児教育、2.学校教育、3.青少年育成、4.生涯学習、5.生涯スポーツ、6.地域文化

1.道路整備、2.公共交通、3.駅周辺整備、4.市街地形成、5.下水道・排水対策、6.ガス・水道、7.公園・緑地

1.地球温暖化対策、2.ごみ処理、3.自然環境の保全と共生、4.緑化・環境美化、5.生活環境の保全

1.防災対策、2.消防・救急体制、3.交通安全対策、4.防犯対策、5.消費者生活対策

1.農業・水産業、2.商工業、3.観光、4.移住・定住、5.企業誘致、6.雇用・就労環境

○ 2つの推進方策

1 地域・市民が主役のまち【協働のまちづくり推進】

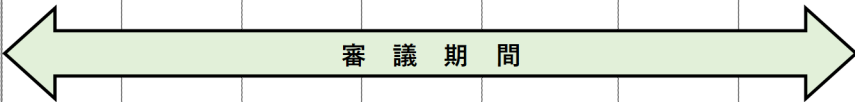
2 創意と工夫による持続可能な行政運営の推進【行政運営】

1.まちづくりの情報共有、2.コミュニティづくり、3.市民参画と協働、4.人権擁護と男女共同参画、5.地域間・国際交流

1.行政組織、2.行政運営、3.財政運営、4.行政情報化、5.広域連携

(4) 後期基本計画の策定について

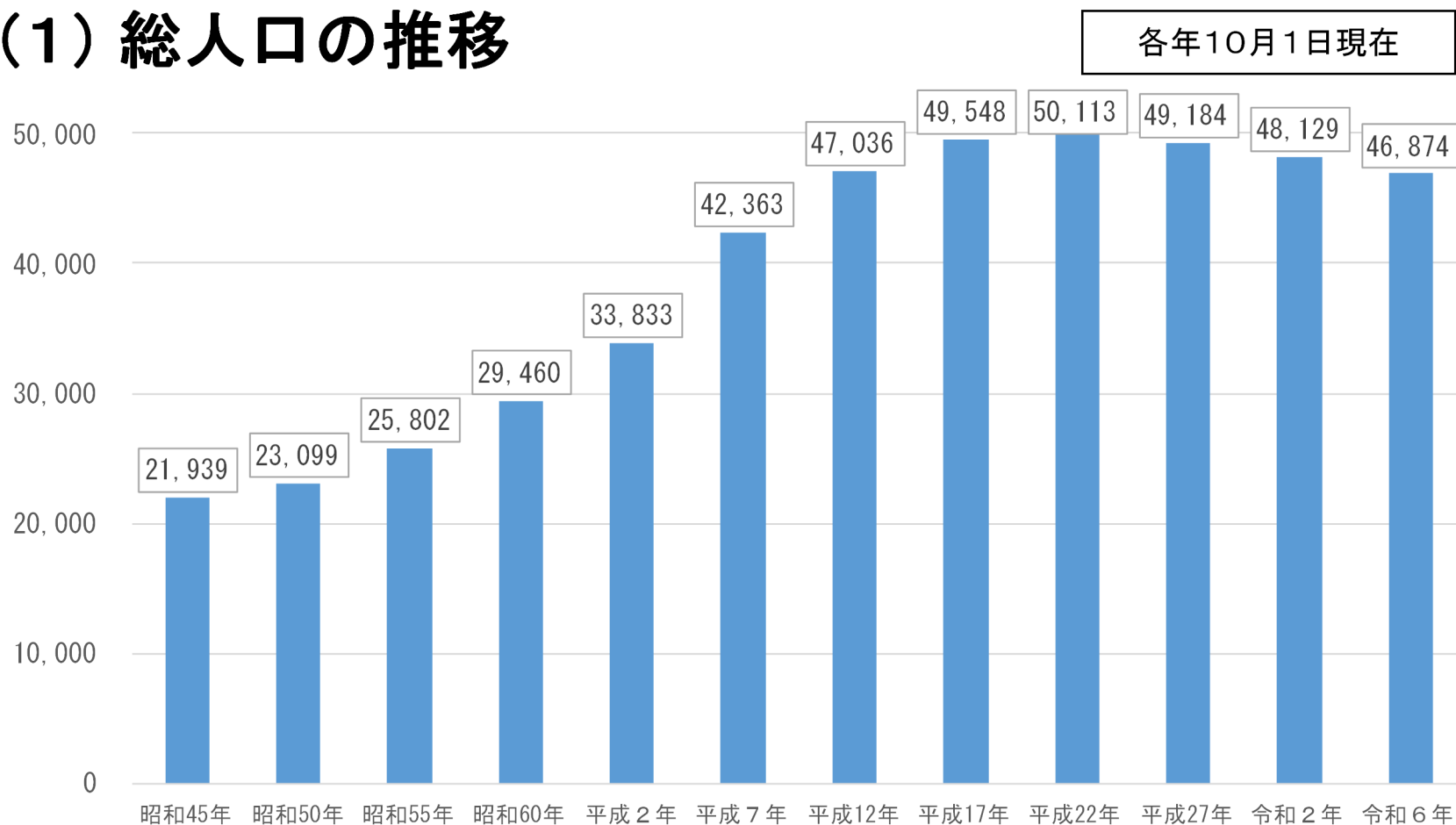
策定スケジュール

	令和7年											
	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
総合計画審議会	諮問				協議			協議			計画答申	
												
基本計画					タウンミーティング							パブコメ

- ◎ 後期5か年(令和8～12年)の施策の展開、成果指標などを策定
- ◎ タウンミーティングやパブリックコメントを実施予定

2 人口の現状と将来展望について

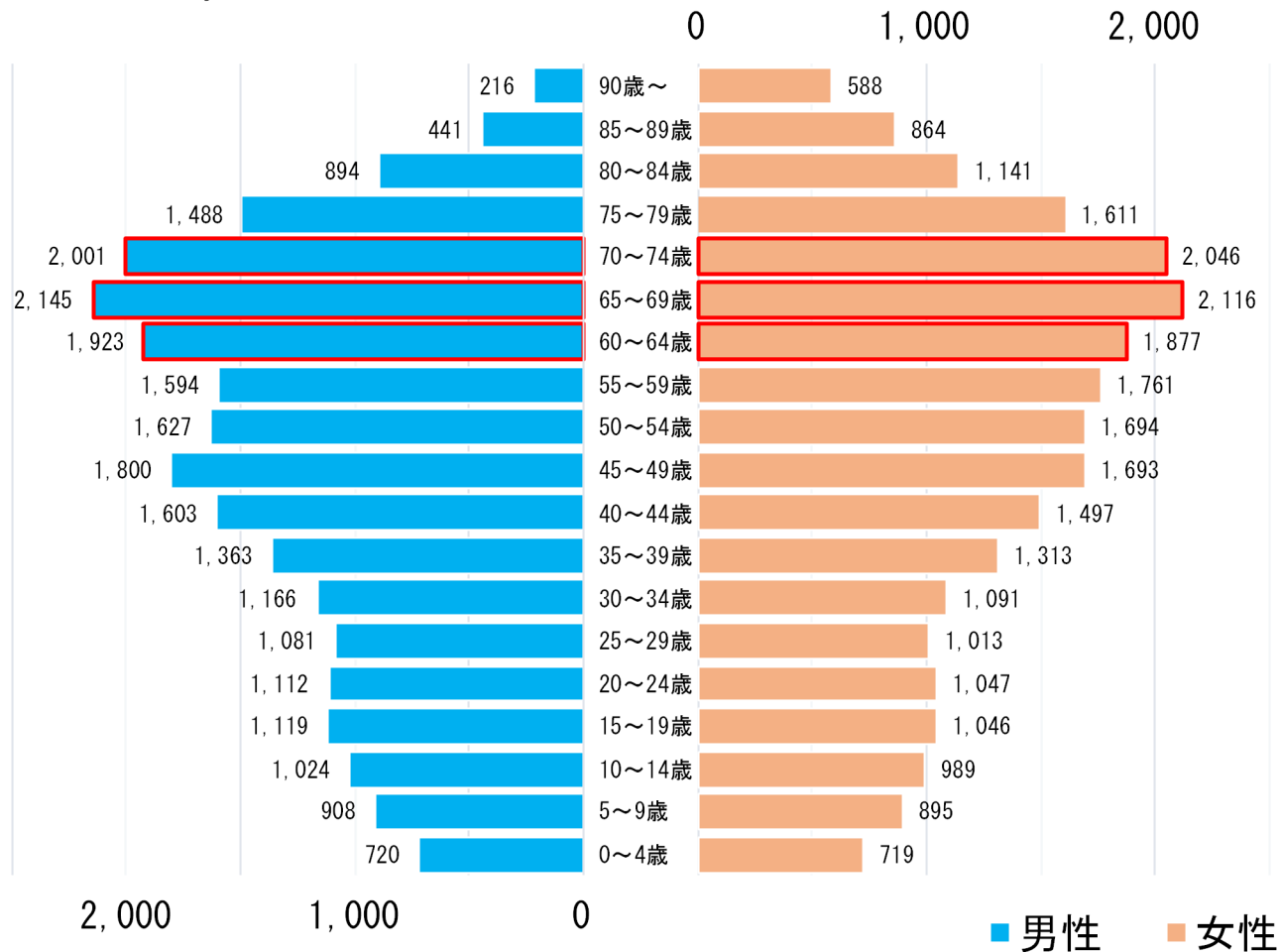
(1) 総人口の推移



令和6年 46,874人（千葉県常住人口調査）
（住民基本台帳人口 47,771人）

(2) 人口ピラミッド

令和6年10月1日現在



◎ 「60歳～74歳」の人口が突出

◎ 進学・就職等を機に市外に流出するケースが多く、若い世代が少ない

(3) 人口の年齢構成比

各年10月1日現在

	平成26年	令和元年	令和6年
総人口	50,714	49,226	47,771
年少人口 (0～14歳)	5,863 (11.6%)	5,255 (10.7%)	4,582 (9.6%)
生産年齢人口 (15～64歳)	31,311 (61.7%)	28,420 (57.7%)	26,601 (55.7%)
老年人口 (65歳以上)	13,540 (26.7%)	15,551 (31.6%)	16,588 (34.7%)
15～49歳女性人口	9,648	8,700	7,875

- ◎ 年少人口・生産年齢人口が減少し、老年人口が増加
⇒ 少子高齢化が進行
- ◎ 「15歳～49歳」の女性人口が10年間で約2割減少
⇒ 出生数が低下

(4) 人口動態

年	全体の増加数	自然動態			社会動態			
		自然増減	出生数	死亡数	社会増減	転入数	転出数	その他
平成26年	△ 155	△ 227	311	538	72	1,992	1,888	△ 32
平成27年	△ 349	△ 261	297	558	△ 88	2,490	2,542	△ 36
平成28年	△ 217	△ 250	261	511	33	2,078	1,993	△ 52
平成29年	△ 279	△ 270	267	537	△ 9	1,884	1,883	△ 10
平成30年	△ 293	△ 279	278	557	△ 14	1,863	1,867	△ 10
令和元年	△ 420	△ 343	248	591	△ 77	1,784	1,854	△ 7
令和2年	99	△ 345	237	582	444	1,785	1,696	355
令和3年	△ 281	△ 403	238	641	122	1,812	1,686	△ 4
令和4年	△ 262	△ 442	207	649	180	1,847	1,658	△ 9
令和5年	△ 237	△ 471	203	674	234	1,889	1,630	△ 25
令和6年	△ 520	△ 525	169	694	5	1,753	1,752	4

- ◎ 自然動態(出生・死亡)の減少幅が年々拡大している
- ◎ 社会動態(転出入)が均衡状態に変化してきている

(5) 人口の現状と今後の見通し

《現状》

◎ 少子高齢化の進展

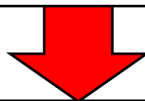
⇒「60歳～74歳」の人口が突出して多い

⇒「15歳～49歳」の女性人口、年間出生数が減少

◎ 社会動態の均衡

⇒ 進学・就職を機に若い世代が流出するケースが多い反面、
ベッドタウンとして35～49歳の流入が多い

⇒ コロナ禍を経て社会増傾向にあったが現在は均衡状態

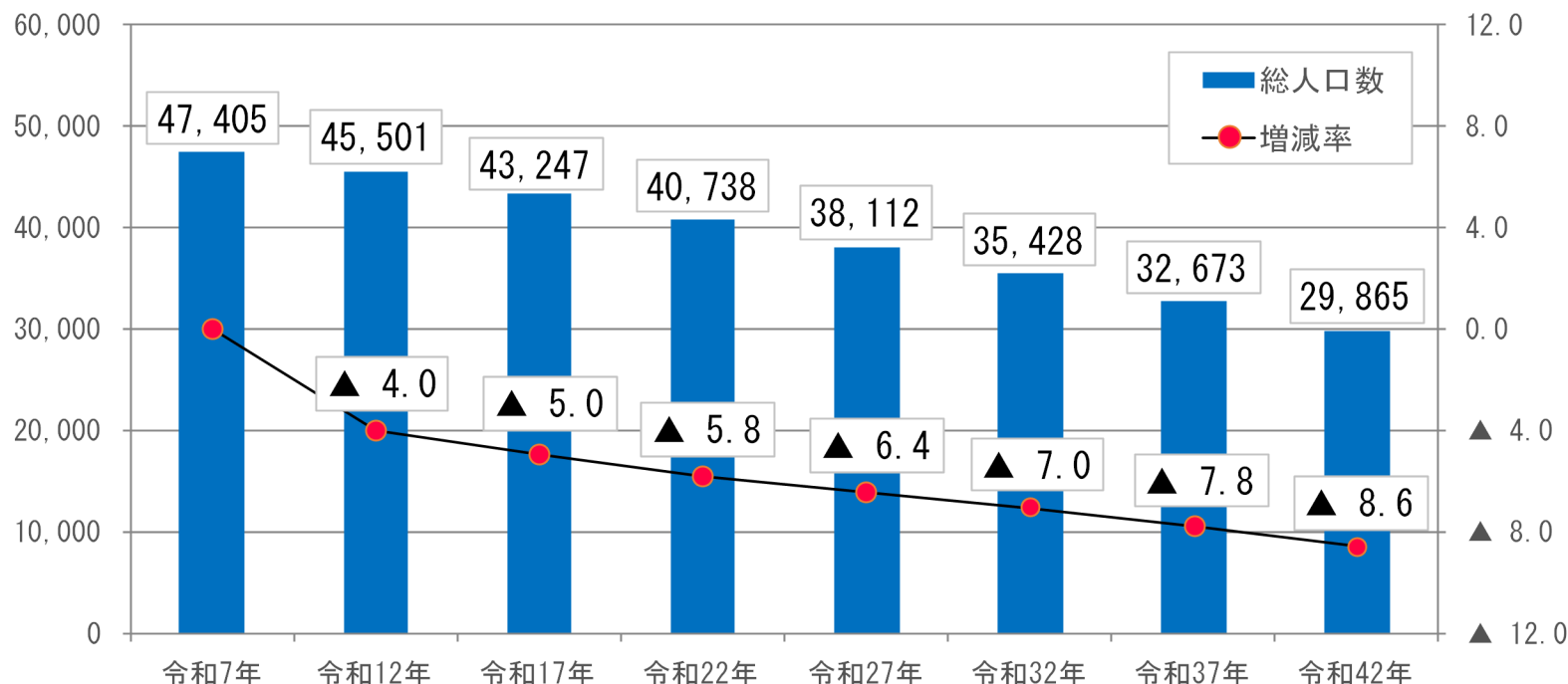


《今後の見通し》

◎ 人口の年齢構成から、当面人口減少は避けられない

◎ 計画最終年である令和12年に総人口45,000人を維持

(6) 将来人口推計



- 《推計条件》
- (1) 基準人口 47,771人(令和6年10月1日住基人口)
 - (2) 生残率 国立社会保障・人口問題研究所の公表する生残率に準拠
 - (3) 出生率 1.09(令和元～5年の平均値)
 - (4) 出生性比率 過去20年間の平均値
 - (5) 純移動率 算出期間 令和元年10月1日～令和6年10月1日

【推計結果】令和12年45,501人、令和17年43,247人
◎ 今後10年間で総人口が約1割減少する見込み

3 市民アンケート調査について

(1) 調査概要

1. 調査目的

大網白里市民のまちづくりに対する重要度・満足度等を明らかにするとともに経年変化を観測し、本市における課題とその対策を検討する際の基礎情報とする。

2. 調査方法

	市民向け調査	中高生向け調査
調査対象	大網白里市民かつ18歳以上の男女	市立中学校3年生と県立大網高校3年生
調査期間	令和6年5月28日～6月15日	令和6年5月7日～6月7日
調査方法	郵送による送付、郵送又はオンラインによる回答	中学生：教育用端末によるオンライン回答 高校生：調査票（紙媒体）による回答

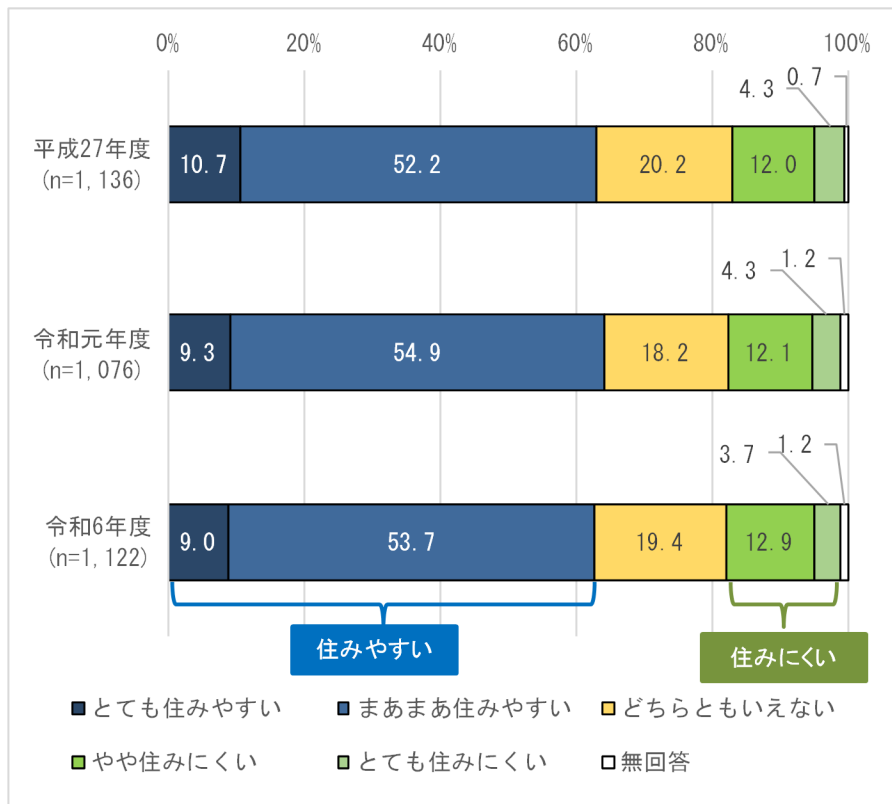
3. 回答率

	配布数	回答数（内オンライン分）	回答率
市民向け調査	3,000件	1,122件（436件）	37.4%
中高生向け調査	524件	478件（353件）	91.2%

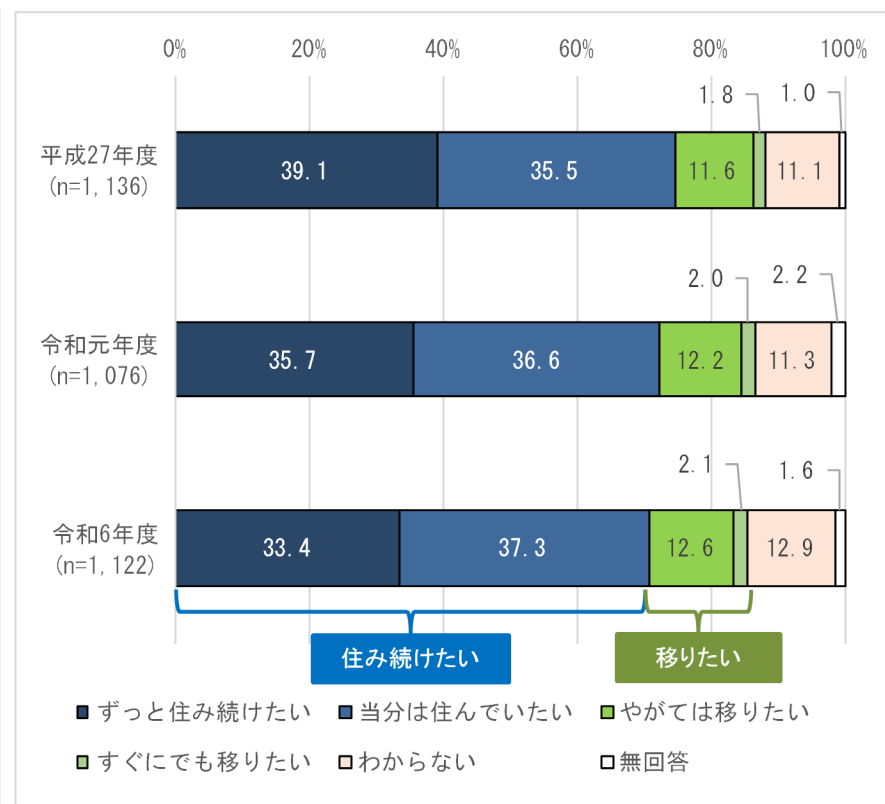
(2) 調査結果(概要)

住み心地・定住意向について

○住み心地



○定住意向



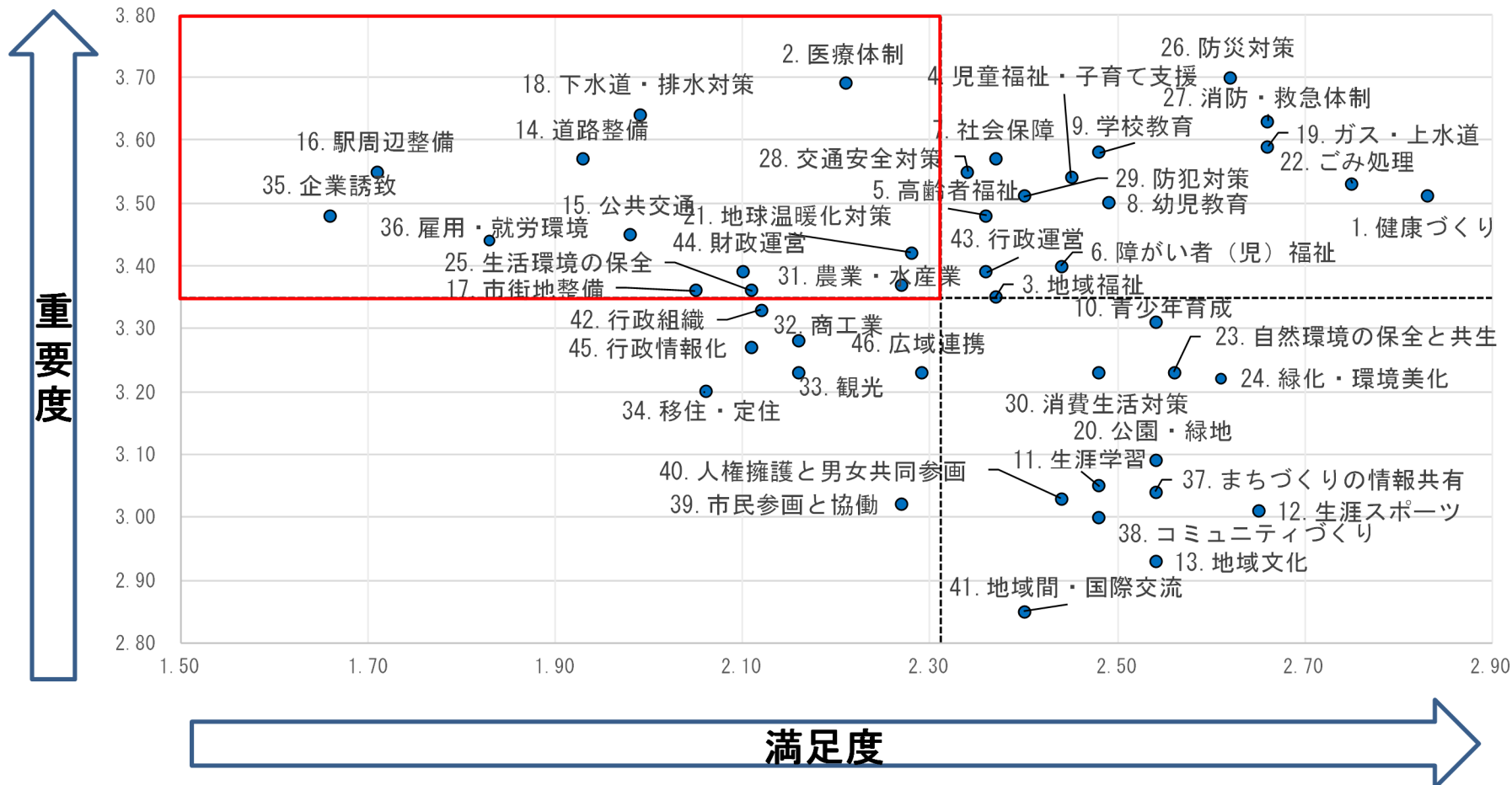
◎ 住み心地・・・『住みやすい』62.7%、『住みにくい』16.6%

◎ 定住意向・・・『住み続けたい』70.7%、『移りたい』14.7%

⇒ 住み心地・定住意向共に前回調査からやや悪化

まちづくり施策の満足度・重要度

(満足4点・やや満足3点・やや不満2点・不満1点の加重平均で算出)



「重要度が平均以上かつ満足度が平均以下」は図左上の赤枠内
医療体制、道路整備、駅周辺整備、企業誘致など12項目

優先・重要視すべき項目（上位10項目）

項目	令和6年度		順位変動	令和元年度	
	割合	順位		割合	順位
医療体制	29.1%	第1位		19.7%	第3位
駅周辺整備	28.2%	第2位		32.6%	第1位
道路整備	19.8%	第3位		18.5%	第4位
公共交通	18.2%	第4位		23.1%	第2位
児童福祉・子育て支援	13.3%	第5位		6.8%	第9位
下水道・排水対策	13.0%	第6位		8.6%	第6位
企業誘致	11.9%	第7位		9.1%	第5位
高齢者福祉	9.0%	第8位		7.2%	第7位
学校教育	7.8%	第9位		6.7%	第10位
防災対策	6.2%	第10位		4.6%	第15位

◎ 優先・重要視すべき項目については、「医療体制（29.1%）」が最も高く、「駅周辺整備（28.2%）」、「道路整備（19.8%）」が続いている。